

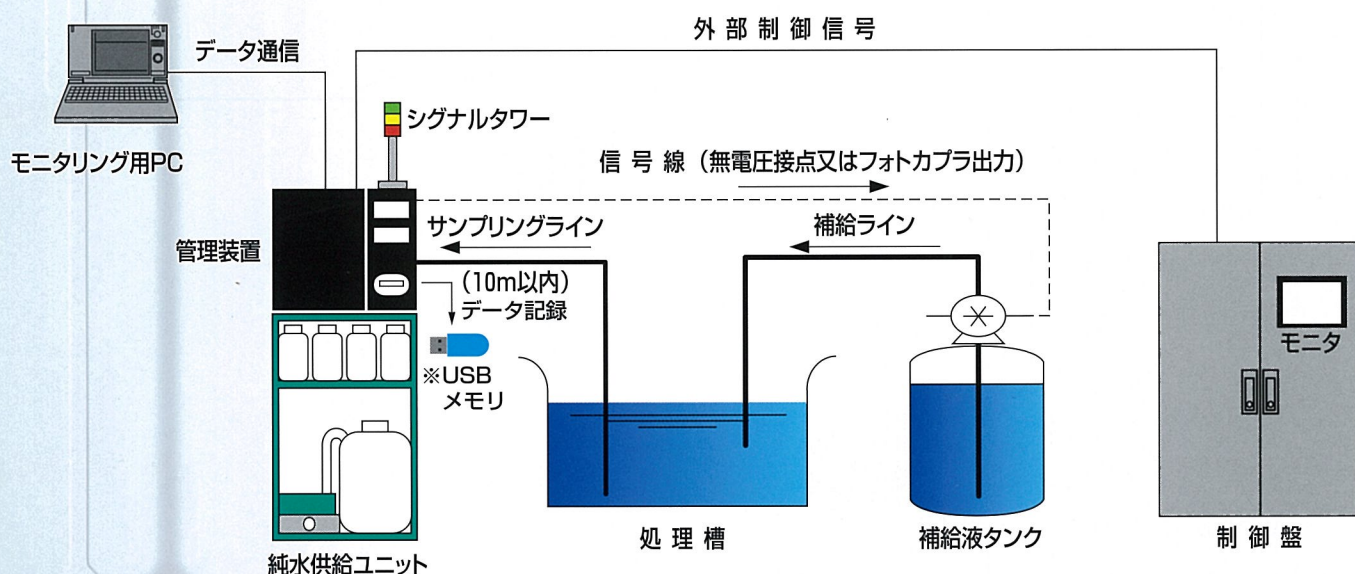


化成処理液自動管理装置

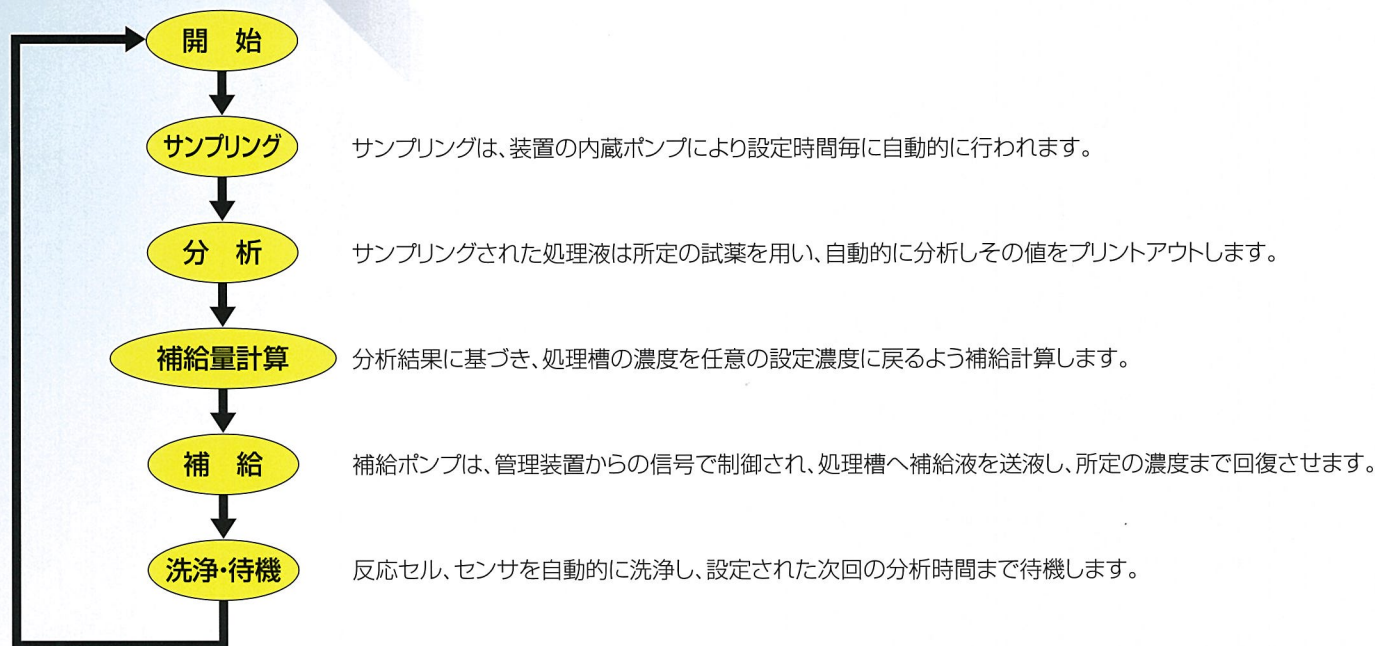
処理液成分の種類・濃度に応じた分析手法・サンプリング手法をご提案し、 処理液の安定化をサポートいたします。

システム概要

化成処理液自動管理装置は、液中の有効成分濃度を自動的に分析、不足分を自動的に補給し濃度を一定に保つシステムです。分析方法の選択により様々な濃度管理が可能です。また、補給方式を任意に選択することにより、ライン条件にあった補給方式で濃度の変動を最小限に抑えることができます。

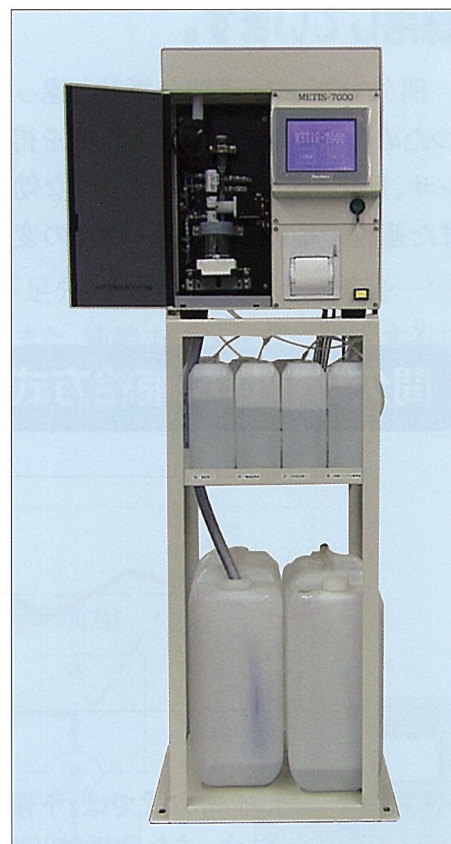
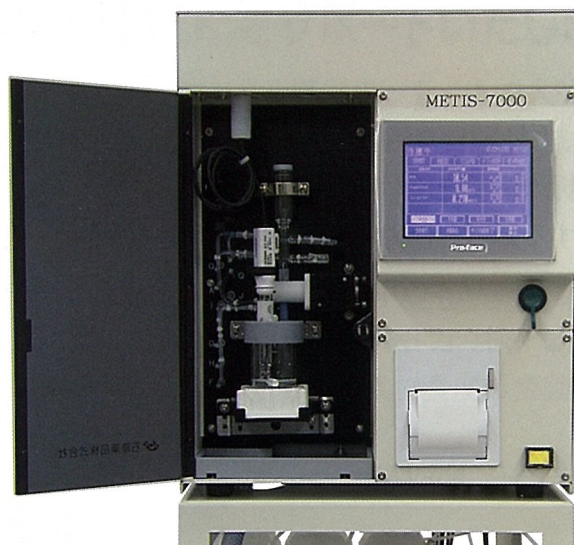


分析・補給フロー図



弊社ではこの様な分析補給の方法を**間欠分析連続補給方式**と呼んでいます。

“METIS” 化成処理液自動管理装置



■標準製品スペック

- 装置本体寸法：385 (W) X470 (H) X455 (D) mm
- 装置本体重量：約30Kg
- 架台寸法：465 (W) X930 (H) X425 (D) mm
- 架台重量：約20Kg
- 電源：AC100V(±10%)60/50Hz、3Pアース付き
(単独アースが必要です。)
- 消費電力：200VA・max

■当社の特徴

- アフターサービス体制の充実
専属技術営業マンによる定期的なメンテナンスを有償にて対応させていただきます。
- 実測分析精度の確認と確かさ
実際に管理する液にて、分析テスト、検量線を確認します。また、1台ずつ出荷前にテストを実施しサンプルの繰り返し分析を行い、その装置の分析精度を確認しております。
センサ単独による分析ではなく、処理液に応じた前処理を施した上、ターゲット成分を直接分析するため、不純物の影響を受けることが少なくなります。
- データ管理機能の充実
分析データロギング機能が標準で装備され、自動的にUSBメモリに分析データが保存されます。保存データはエクセル等の表計算ソフトでの確認が可能です。
オプションのモニタリングシステムを装備することにより、データ管理、不具合原因のフィードバックが容易になります。
また、上位のパソコンによる集中管理にも対応できます。(ISO9000、14000取得に貢献できます。)
- サンプルテストによる分析手順の検討から装置化までの一貫した対応が可能
分析方法の確定しないサンプルにつきましても、弊社でその分析手法を検討し、その処理液に適した管理装置の設計、製造まで対応させていただきます。
- 汎用性があり各メーカーの処理液に対応が可能
弊社の管理装置を用いた、いろいろな処理液の対応実績があります。
また、導入後、処理液の変更があった場合でも、分析条件変更等で対応可能です。
(事前に適応性の確認テストを行います。)
- 補給方式の充実
多種類の補給方法を選択できるため、適切な補給量を制御でき補給液及び廃液量の減少によるコストダウンが可能です。
また、処理液濃度を常に安定に保つことにより、製品の歩留まりを向上させます。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■お問い合わせは……



石原薬品株式会社

本社 〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原町5番26号 TEL.(078) 682-2307 (直通)
東京支店 〒110-0016 東京都台東区台東2丁目26番11号 TEL.(03) 3832-8037 (直通)
滋賀工場 〒520-1642 滋賀県高島市今津町北生見古野 TEL.(0740) 24-0151 (代表)
(ホームページアドレス) <http://www.unicon.co.jp>